

総合システム工学入門 PBL

Introductory PBL on Integrated System Engineering

学年：1 年次 学期：前期 単位区分：必修 単位数：2 単位

担当教員名 総合システム工学科各教員

1. 概要

総合システム工学科における数理科学・物理学科目の位置づけを講義するとともに、機械工学や電気電子工学を中心とする複数の専門分野の現状や研究の概要を把握する。

●授業の目的

総合システム工学科における4年間の学習内容および専門分野の概要を把握し、自らの将来について展望するきっかけを作ると共に今後4年間の学習の動機付けを行う。さらに、エンジニアに必要なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力といった学習のための基本スキルを身につけ、グループ学習によるPBLを通してチームとしての行動力を育てる。

●授業の位置付け

4年間の学習へのガイダンス科目である。

2. キーワード

課題解決型学習 (PBL)、総合システム工学、プレゼンテーション、コミュニケーション、グループ学習

3. 到達目標

- ・大学での学習に対する志を立てる。
- ・学習動機付けを獲得する。
- ・グループ内でのコミュニケーションの重要性を理解する。
- ・プレゼンテーションの重要性を理解する。
- ・日本語表現の重要性を理解する。

4. 授業計画

([]内は授業回数を目安)

- (1) ガイダンス [1]
- (2) 数理科学科目俯瞰講義 [3]
- (3) 物理学科目俯瞰講義 [2]
- (4) 総合システム工学入門リレー講義 [12]
- (5) コミュニケーションスキル [3]
- (6) 日本語表現技術法 [3]
- (7) プレゼンテーション [4]

5. 評価の方法・基準

レポート(40%)、コミュニケーション(20%)プレゼンテーション(40%)により評価する。60点以上を合格とする。

6. 履修上の注意事項、授業時間外における学習等

(5)～(7)はグループ学習となる。適宜課題が示されるので、授業時間外で取り組むこと。

7. 教科書・参考書

●教科書

なし

●参考書

なし

8. オフィスアワー

第1回目の講義の時に指定する。